~戸越銀座商店街を守る神様~

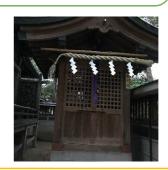
五反田駅からわずか 5 分以内の場所にある戸越銀座商店街。観光客から地元の方たちまで愛されるこの商店街の地名「戸越」の始まりといわれている神社を訪れた。



戸越八幡神社 →大永六戌丙年(1526年)8月15日 に山城国(京都府)石清水男山八幡宮の御分霊祭神の 誉田別命=ほんだわけのみことが祭られている。



左側:稲荷社御祭神 豊受姫命(とようけひめのみこと) 安産祈願



右側:春日社御祭神 天兒屋根命(あめのこやねのみこと) 産業繁栄の神様

杜殿

社文がはあ馬た尊女をかう強てういいは、一大学のは、一大学、一大学のは、一大学のないは、一大学のいいは、一大学のいは、一大学のは、一大学のは、一大学のは、一大学のは、一大学のは、一大学のは、一大学のは、一大学のは、一大学のは、一大学のは、一

≪参拝者に対する感謝の真心≫

この神社に訪れる際に一番驚いたのは入った先に机とソファーが神社の目の前にあったことだ。普通なら決して見られない光景だが、参拝者はリラックスした表情でその場を優雅に過ごされているように見えた。神主さんにその答えを聞いた所この神社には、「森林から光と影が織り成す憩いの神社参道を歩きお参りすれば自然と心が通い出す」という意味が込められている。つまり、静かにゆっくりと時が流れているかのように感じさせるためお茶やお菓子といった参拝者には優しいサービスがあるのだ。また、日にちによればコーヒーといった嬉しいサービスもある。

誉田別命(ほんだわけのみこと)

誉田別命、別名応神天皇。第15代天皇。 (仲哀天皇9年12月14日一応神天皇41年2月15日) 大分県の宇佐八幡宮を総本社として祭られている。 なぜ、祭られているのかは未だ解明されていない。